

登録コード	A3591356	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	鈴木 香奈子	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					聴衆者に対して理解しやすい説明を行うトレーニングを通して、コミュニケーション能力を培うこと。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					聴衆者に対して理解しやすい説明を行うトレーニングを通して、コミュニケーション能力を培うこと。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					聴衆者に対して理解しやすい説明を行うトレーニングを通して、コミュニケーション能力を培うこと。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					聴衆者に対して理解しやすい説明を行うトレーニングを通して、コミュニケーション能力を培うこと。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要な要旨作成、説明手法について解説する。また、専門用語の使い方、質疑応答の方法について学ぶ。							
(5)授業計画	1．専門分野の書物を読み、担当の章について要旨を作成、説明する。 2．質問者からの質問に回答できるように様々な点から調べておく。 3．自身の研究テーマに近い論文を選出して読み、要旨を作成してその内容を説明する。 4．質問者との質疑応答を行う。							
(6)自主学習の指針	専門用語集や関連する分野の書物を参考として、聴衆者への説明の仕方、質問者への回答の方法を事前に考えておく必要がある。							
(7)成績評価の基準	プレゼンテーション内容と質疑応答の内容							
(8)事前事後学習の内容	授業後、再度選出した論文を読み返し、自身のプレゼンテーションの内容が分かりやすかったかどうか、授業で指摘された部分について再考すること。							
(9)テストやレポートの予定	プレゼンテーションの要旨の提出をもとめます。 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。							
(10)成績評価の方法	発表内容と積極的な質疑応答の姿勢							
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます。 email: kanasuzu@shinshu-u.ac.jp							
(12)履修上の注意	1．事前の準備をしっかりとやること。 2．発表者は発表開始の10分前までに準備を終えること。 3．2/3に出席が満たない受講者には、単位を認定しない。							
【教科書】	特に指定はしません。							
【参考書】	発表に使用する書物・論文は専門分野に関連したものとしします。							